

はあもにい 第 1 号

・昭和 48 年 1 月 13 日 第 3 種
郵便物認可
・H S K 通巻 353 号
・発行 2001 年 9 月 10 日
・発行人 北海道身体障害者
団体定期刊行物協
会 (H S K)
細川 久美子
〒063 札幌市西区八
軒 8 条東 5 丁目 4-18
・定価 110 円
・編集はあもにい編集委員会
(0144) 87-3800



夏祭り



大運動会



YOSAKOI ソーラン

「愛泉だより」名称変更について

今回、白老宏友会の広報誌である「愛泉だより」の名称を変更させていただくこととなりました。

平成 3 年 3 月の創刊より年 3 回の発行を続け、今回で実に通算 38 回目となりました。これまで発行してきた「愛泉だより」を紐解いてみると、正に当法人および白老愛泉園の歴史その物を振り返る貴重な資料でもあります。

さて当法人は、地域福祉の実践を大きな目標として、様々な活動を実施してきました。設立当初は、1 法人 1 施設といった規模でしたが、現在は 2 施設 1 分場、複数のグループホームを抱え、地域に根ざした福祉の担い手としてその精神が、微力ながらも各方面に浸透しつつあります。

このような変遷の中、愛泉園の活動を紹介するために発行を続けてきました「愛泉だより」が法人事業の拡大に伴いこの機会に法人唯一の広報誌として名称の変更を行い、更に情報公開にふさわしい内容にするとともに、また、今後とも広く当法人の活動を紹介し、魅力ある誌面づくりを目指していきたいと思っております。

なお、名称の変更にあたり苫小牧民報社白老支局の本田孜様にご助言頂きました事をここに深く感謝申し上げます。

編集者代表 高井 勝治

「はあもにい」刊行に寄せて

知的障害者更生施設白老愛泉園を経営する社会法人白老宏友会は、利用者の社会的自立と地域におけるノーマライゼーションの実現という高い目標を掲げて、グループホームの各ハウス、福祉の店「ななかまど」、授産施設「ポプリ」など次々と新しい施設を展開してきました。

多くの困難な課題を、役職員の熱意と行動力で克服し、父母や行政、地域住民の支持を得て、その目標は一つづつ着実に実現されてきています。

これらの施設が障害者のために設立されたことはいまでもありませんが、実は地域住民にとっても必要不可欠な施設になっていると気付かされます。

私たちのすぐ隣で、障害者も同じように働き、生活ができ、違和感なく日常のあいさつを交わすことができるという心の健全さは、地域の中に施設があつてこそ育めるのです。

福祉政策が大きく変わろうとする今、地域に生まれたこれら多様な施設が、今後も多くの人たちに支えられ、それぞれの持ち味を生かしつつ、美しいハーモニーをいつまでも奏で続けられるよう期待してやみません。

苫小牧民報社白老支局 本田 孜

ズームアップ



第10回 YOSAKOIソーラン祭 in 札幌

白老愛泉園
利用者 倉部 芳彦

よさこいソーランについていろいろなまねきねにおどりたいとおもっています。それはよさこいソーランで、やけいに大どおり西8丁目でがんばっておどっています。みんなですよさこいソーランで、

ないておこつてわらてがなれば、そしてがんばれきいてよろこんでよさこいソーランで、おどりをしたとそれぞれとがんばります。そんなとがんばれそしてみんながんばれよさこいソーランまつりで、これからもテレビばんぐみをよろしくおねがいします。

授産施設 ポプリ
利用者 大友 純

6月9日、10日の2日間札幌でまねき猫の踊りを大通り公園、札幌駅、一番街のステージで踊りました。

サツポロフアクトリーでは、かなり雨がふり、はじめの1時間以上雨が降った。雨がすつかりやみました。夜の集合時間がはじまる前に人がいっぱいこみあっています。かなり心ばいそうでした。曇り空の中ではりきっていました。

白老愛泉園
指導員 伊藤 清香

「よさこい in 札幌」去る、6月9・10日、札幌に全道、全国からのYOSAKOIチームが、この日の為に練習に練習を重ね、辛いこと、苦しいこと、うれしいこと、楽しいこと……様々な思いを抱き、分かち合った。そんな仲間で作ったチーム一つ一つの舞い。こんなに激しく、情熱的なイベントに我ら「まねき猫」は参加してきました。様々な壁はありました。けれど、沢山の方々からの暖かく心強い支援があり、底知れぬ感動を覚え、「まねき猫」としての土台が出来ました。最後に、ボランティアで参加されました皆様、本当にありがとうございます。

「薬草の里」だより

「薬草の里」見学会開催！

7月28日(日)に第2回「薬草の里」見学会を開催しました。当日は天候にも恵まれ約60名の町民が参加、6区画に分かれた薬草園を見学の後、ハーブ入り焼パンとカレーライス、カキドオシの水羊かんなど薬草やハーブの風味を堪能しました。

チクセツニンジンと同じウコギ科のチヨウセンニンジンに大変良く似ており、健胃に効果がある薬草で以前から、ぜひ「薬草の里」にも植えたいと思っていたチクセツニンジンですが、たまたま野草に興味を持つ友人に会う機会があり友人宅の庭にて発見、一株ゆずってもらいました。来年には皆様にお見せできると思います。

これからの薬草作業！愛泉園では、施設利用者の日中活動として農耕や養鶏、しいたけ作業などを行っています。これまで「薬草加工」もその一つです。これまで製品化したものとして、「よもぎのお風呂」、「ミントのお風呂」、「よもぎ茶」、



いろんな薬草があります

「のぶどう茶」、「どくだみ茶」、猫の遊具として「またたびの木」等を販売しました。今後は、売れ筋商品の大量生産、新製品の開発に力を入れていきたいと考え、利用者・職員一同、張り切っています。ポランティア募集！薬草やハーブに興味のある方、「薬草の里」ボランティアに参加してみませんか。薬草栽培、管理、草取り、収穫、薬草加工等、可能な範囲の活動でかまいません。ぜひご参加下さいますようお願いいたします。

(桜田)

「IT革命に仲間入りしませんか？」 障害者情報バリアフリー設備 整備事業によりパソコンを設置

現在、急速に進化しているIT文化。日々様々に飛び交い、益々便利になっていく通信情報機器を在宅の障害児(者)の方々にも、広くかつ容易に活用してもらおうという国の施策により、今般、北海道を主体として、パソコン3台及びプリンター、スキャナー等の周辺機器が愛泉園に無償で設置されました。

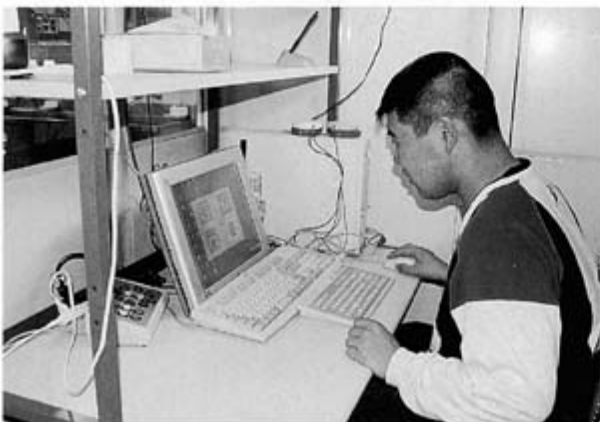
設置場所は、食堂横のスペースを活用し、余暇時間や休日等に利用者が気軽に使用できるように開放しています。

当施設では、今後ネット通信やEメール等の整備を進め、より幅広く楽しんで頂きたいと考えております。また、月曜日から金曜日までの午前10時から午後4時の間は、一般開放を無料で行っております。ゲームソフトやワープロ、計算機能もありますので、お気軽に御利用下さい。

詳しくは、白老愛泉園事務局まで御連絡下さい。
(Tel: 0144-87-3800)



設置されたパソコン



パソコンを前に奮闘中